

2月新刊図書

1 『その糸を文字と成し』

著者：高野 知宙

出版社：河出書房新社

『ちとせ』でデビューした現役大学生による小説二作目。社会が不安だった明治初期を舞台に、歴史に翻弄される少年達を描く感動作！

2 『成瀬は都を駆け抜ける』

著者：宮島 未奈

出版社：新潮社

唯一無二の主人公、膳所から京都へ！

令和最強の青春小説シリーズ堂々完結！

3 『爽やか少年団の故郷』

著者：近藤 哲夫

出版社：ブイツーソリューション

昭和の北越小京都・加茂市に現れたタイムスリッパーと不思議な冒険へ

4 『銀閣寺道』

著者：東田 保久

出版社：講談社エディトリアル

古き良きあの頃の京都へ――

自立を目指す一人の青年の物語。

人々との交流をとおして変化していく心を瑞々しい筆致で描く。

5 『ネズミとキリンの金字塔』

著者： 門前 典之

出版社： 論創社

地方都市を支配する一族が営む総合病院に隠された深淵なる闇。続発する怪事件に立ち向かう偏屈探偵・蜘蛛手啓司は、過去から連綿と受け継がれる“負の歴史”に終止符を打つ事ができるのか……。

6 『今を春べと』

著者： 奥田 亜希子

出版社： 双葉社

母親だって趣味を持ちたい。競技かるたの奥深さに目覚めた女性と、その家族の成長物語